

鹿児島大学

保健管理センター年報

第 44 号

(令和 4 年度)

鹿児島大学保健管理センター

目 次

はじめに.....	1
-----------	---

本年度の活動

I. 本年度の動向と活動の特色.....	2
----------------------	---

II. 教育・調査・研究

(1) 講義・講演・学会・論文・地域貢献.....	4
(2) 調査報告.....	5

III. 安全点検／産業保健活動.....	7
-----------------------	---

業務報告

IV. 保健管理センターの利用状況.....	8
------------------------	---

V. 定期健康診断など.....	11
------------------	----

保健管理センターについて

VI. 保健管理センターの沿革.....	16
----------------------	----

VII. 学校保健計画及び学校安全計画.....	18
--------------------------	----

VIII. 保健管理体制

(1) 保健管理センター職員.....	20
(2) 保健管理センター運営委員会委員.....	21

あとがき.....	22
-----------	----

保健管理センターからお伝えしたいこと

- ・タバコの煙は大切な命を奪います。
- ・‘安全でない’セックスは大切な命を奪います。
- ・薬物（ドラッグ）の不正使用は犯罪です。
- ・一気飲みはしない、させない。
- ・‘いじり’も‘いじめ’も被害者にとっては同じです。
- ・受けた人に被害感があれば、それはハラスメントです。
- ・定期健康診断を受けましょう。

6 tips for your good health

1. Take it easy (Have a good time to switch off)
2. Chat and laugh with your friends and/or teachers
3. Sleep well
4. Healthy eating and tea break
5. Exercise
6. No drug! No smoking!

学内での啓発を継続すべき支援理念

- ・治療ではなく支援が重要
- ・支援は教育的であるべき
- ・支援の実践者は、対象者の周囲の人々
- ・専門家は主にコーディネーター的役割
- ・多様性を特徴とする特性には卒業要件に含むべきでないものがある（社会性、コミュニケーション能力など）

（参照）保健管理センター危機管理メモ

は じ め に

鹿児島大学保健管理センター

所 長 伊地知 信二

他の人の意見を尊重し、多様な考えの存在を受け入れて、相手を傷つけないようにできる人が増えれば、かなり平和な世の中が実現できます。ところが、多様性（ダイバーシティ）についてのいろいろなスローガンが飛びかう中、何が大事なのかを理解することができずに、自分の考えを強引に押し付けて相手に恐怖感を与える（モラル・ハラスメントをしてしまう）人が後を絶ちません。

金子みすゞの有名な詩の最後「鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい」の最も大事なところは、「みんないい」のところだと思います。「いいものと、良くないもの」とか「価値あるものと、取るに足らないもの」の多様性ではなく、それぞれが尊重されるべき多様性の存在を気づかせてくれるので、この詩は高く評価されています。

「それじゃ、意見をまとめることができなくなって、何も決められなくなる」と思われる方がおられるかもしれませんが、上下・優劣を決めつけたり、少数派の意見を無視したり、相手の立場や立ち位置に配慮しない失礼な言動をしたり、「私はできる人、あなたはできない人」と一方的に決めつけるようなマナーはだめですよという話です。相手の存在や立場をリスペクトした上で、コミュニケーションを進めることが理想的ですが、相手を傷つけないように議論することは確かに難しい社会的スキルではあります。しかし、表面化するモラル・ハラスメントのケースでは、一瞬で周囲が凍り付くような場面があるにも関わらず、相手を傷つけた本人はその言動の問題点や相手のダメージに気づくことはありません。こういった人間関係にはおのずと到達点に限界が生じます。

テレビドラマ（NHK）の「アストリッドとラファエル2（文書係の事件簿）」で、自閉症者であるアストリッドが相棒（バディ）のラファエルの存在を、「助けてくれる人（支援者）」ではなく「お互いに助け合えるバディ」と気づく場面があります。自閉症者は、全体や流れを把握することが苦手な場合がありますが、細部については常に注意が向いていて、防犯カメラに映っている証拠に一人だけ気づくことができます。手品の種を見破ったり、錯覚に陥りにくいのも自閉症の特性ですので、ドラマの中で人の錯覚を自由に操る手品師の犯人にだまされることなく、犯人逮捕に貢献します。アストリッドにとってラファエルは「助けてくれる人」であると同時に、「助けてあげたい人」ということになります。お互いリスペクトし合う関係があって初めて、多様性の全体を社会貢献に効果的につなげることができます。

I. 本年度の動向と活動の特色

概要:

ウィズコロナ・ポストコロナ状態が続いている。学生支援・職員支援については、支援が必要なケースが潜在化していることが予想される。

2022年度（令和4年度）の学生定期健康診断は、新入生の胸部X線検査が5日間、Web問診で対面診察が必要と判断された学生の来所を5日間行った（ポストコロナスタイル）。本年度も留学生の入国は遅れ、7月6日に結核のスクリーニング採血（Tスポット）を47名に行い、加えて臨時の胸部X線検査で対応した。10月健診（秋健診）は29名に胸部X線検査を実施した。

3回目の新型コロナウイルスワクチン職域接種は、本学においては、前年度の3月28日から、本年度6月10日まで行われた。4回目は11月に行われた。保健管理センターは、救護室を担当した。令和4年1月に始まったオミクロン株の流行では、本学でも多数の発症学生を出し、第8波のピークが明瞭であった。感染症申請Webシステムについては、入力内容の改正を3回行った。

(1) 学生支援・職員支援

自殺に関連する相談件数は、減ることはなく、担当教員や学部との連携を続けているケースでは、学部の支援体制が変わったことを契機に、家族との連携も開始することができた。就活でのつまずきで、過覚醒状態になったり、自傷行為をしたりするケースも保健管理センターで対応できるのは、氷山の一角と思われ、多くは潜在していると思われる。職員支援では、モラル・ハラスメントの相談件数が本年度は目立っており、加害者の方は、相手を傷つけたことに気が付かない場合が多い。過重労働職員も潜在して増加していることが予想され、復帰支援を行ったケースも氷山の一角と考えられる。

救護待機業務では、新型コロナウイルス流行によ

り代表学生のみで行われていた卒業式が川商ホールで行われたため、会場にて救護待機を行った（2023年3月23日、図1）。



図1 川商ホール（卒業式の救護所）

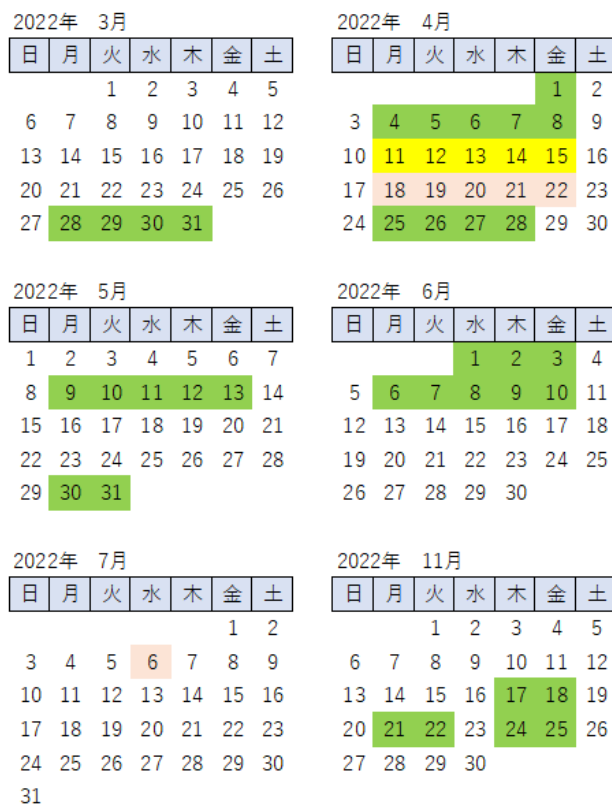


図2 職域接種（緑）と学生定期健康診断（黄色：新入生X線検査，薄桃色：対面診察または採血）

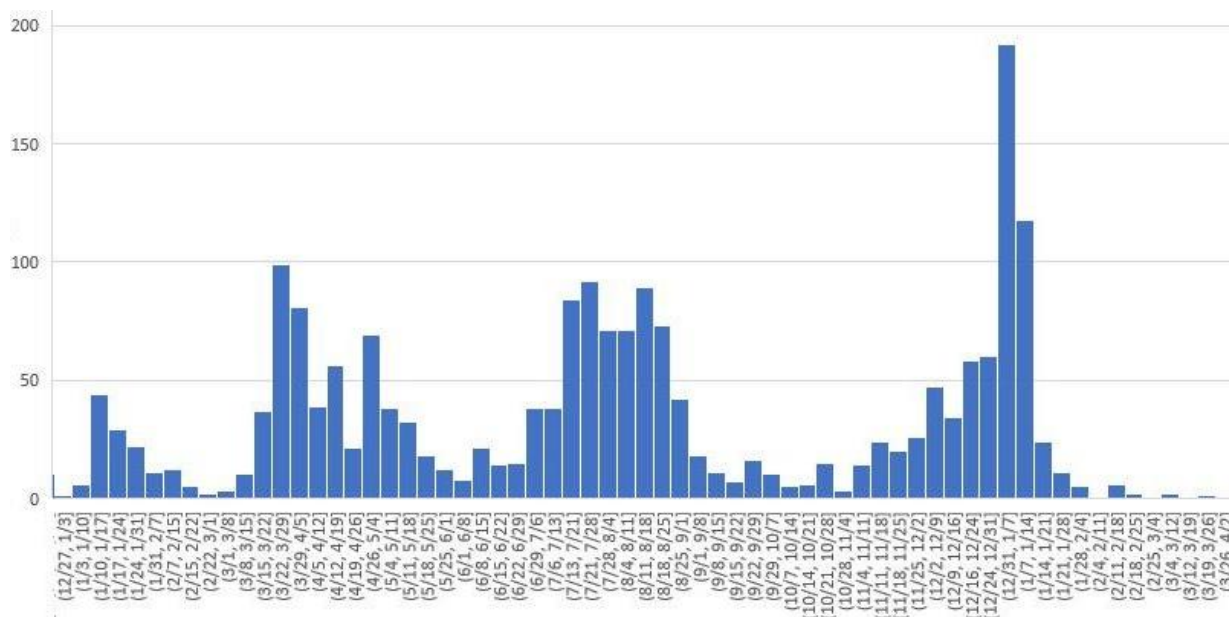
(2) 学生定期健康診断

2022 年度（令和 4 年度）の学生定期健康診断は、3 回目の職域接種（新型コロナウイルス）の合間に新入生の胸部 X 線検査を 5 日間（4 月 11 日から 15 日）、Web 問診で対面診察が必要と判断された学生の対面問診を 5 日間（4 月 18 日から 22 日）行った（図 2）。留学生の入国は遅れ気味で、7 月 6 日に結核のスクリーニング採血（T-スポット）を 47 名に行い、加えて臨時の胸部 X 線検査で対応した（5 月 17 日 2 名、6 月 21 日 1 名、7 月 7 日 2 名、7 月 29 日 4 名、8 月以降 7 名）。10 月健診（秋健診）は 29 名に胸部 X 線検査を実施した。

(3) 新型コロナウイルス感染症

図 2 に 3 回目と 4 回目の職域接種日程を示す。3 回目は、前年度の 3 月 28 日から、本年度 6 月 10 日まで行われた。4 回目は 11 月に図 2 の日程で行われ

た。保健管理センターは、救護室を担当した。1 回目と 2 回目にほぼ 100 人に一人みられた血管迷走神経反射は、3 回目以降は約 1,000 人に一人と減少した。図 3 に、本年度の COVID-19 発症学生数を示す。7～8 月のピークは第 7 波、10 月以降のピークは第 8 波に相当する。令和 4 年 1 月からはオミクロン株の流行のため、図 3 は前年度の 1 月からの発症申請数を示している。感染症申請 Web システムについては、5 月 25 日に、連絡先電話番号の入力を必須に変更し、全ての申請に学生寮の選択肢を入れ、登録後に示されるコメントとリンク先を設定できるように改正した。また、8 月 5 日には、発症者と疑い例の申請で、発病後の最高体温、ワクチン接種回数、持病の有無、医療に関する困り事の有無の入力を追加した。加えて、11 月 8 日には、発症者にのみ、「最後の接種から何カ月で発症しましたか」を追加した。



Ⅱ．教育・調査・研究

(1) 講義・講演・学会・論文・地域貢献

(講義)

- ・ 伊地知信二. 「依頼・介入関係の基礎概念」 共通教育（後期）→COVID-19 対応のために閉講
- ・ 川池陽一. 「臨床精神医学特論」 臨床心理学研究科（後期）
- ・ 鮫島久美. 「健康管理」 共通教育（後期）→COVID-19 対応のために閉講

(AED 講習会)

- ・ 鮫島久美. 介護等体験に係る事前実習（オンデマンド配信）7月11日～22日）学生36名
- ・ 鮫島久美. 附属幼稚園（教材の貸し出し及び講習動画の案内）

(講演・シンポジウムなど)

- ・ 伊地知信二. 「ハラスメント相談員による初期対応」 令和4年度ハラスメント相談員研修会（2022年6月6日～7月5日，オンデマンド）
- ・ 川池陽一. 「大学生に多い睡眠リズムのトラブルと快適な睡眠のコツ」 農学部・獣医学部ヘルスケア講演会（2022年6月7日，オンライン）

(地域貢献)

- ・ 川池陽一，鹿児島県精神科病院実地審査委員，医療観察法精神保健審判員，医療観察法病棟倫理委員会議員，鹿児島県職員健康相談員



(2) 調査報告① 2022 年度 学生結核スクリーニング採血検査について

<実施方法>

- ・2022 年度学生定期健康診断（Web 問診）時と留学生健康診断（チェックリスト問診）時，受診者全員に対して以下のアンケートを実施

Q1. 最近 1 年間で，結核の高蔓延地域にトータルで 1 ヶ月以上居住・滞在したことがありますか？

Q2. Yes の方は，採血検査を受けるべきですが，受けますか？

- ・Yes と回答した学生に対し結核スクリーニング採血（商品名 T-spot）を無料で実施

<結 果>

結核スクリーニング検査（T-spot）

	陽性	判定保留	陰性	合計(名)
留学生	0	2	47	49
留学生以外	0	0	0	0
合計(名)	0	2	47	49

- ・T - spot 判定保留の 2 名に対して，QFT（クオンティフェロン）検査を実施。1 名は陰性，1 名は陽性であり，2 名とも無症状，胸部 X 線検査は異常なしであった。QFT 陽性者は，病院紹介し経過観察とした。

2022 年度 外国人留学生出身国（地域）別人数

■ 結核高蔓延国等出身者 285 名 (96.9%)

アジア地域	ミャンマー	4	260	ヨーロッパ地域	フランス	2	7
	タイ	5			スペイン	1	
	マレーシア	12			ドイツ	1	
	インドネシア	17			ウクライナ	1	
	フィリピン	2			リトアニア	1	
	韓国	45			カザフスタン	1	
	ベトナム	34			北米地域	アメリカ合衆国	
	中国	102		南米地域	ブラジル	5	10
	台湾	3			ペルー	2	
	ラオス	2			ガイアナ	1	
	カンボジア	2			ニカラグア	1	
	ネパール	3			セントルシア	1	
	インド	1		大洋州地域	フィジー	3	6
バングラデシュ	20	キリバス	1				
スリランカ	8	ソロモン諸島	1				
		パプアニューギニア	1				
中近東地域	トルコ	2	2	合計		294	294
アフリカ地域	エジプト	1	8	※在籍人数であり，入国できていない学生や一時帰国したままの留学生の人数を含む			
	ケニア	2					
	タンザニア	2					
	マラウイ						
	ベナン	1					
	シェラレオネ	1					
	ウガンダ	1					

参考資料：2022 年度鹿児島大学概要より

調査報告② 2022 年度 化学薬品使用学生の採血結果について

<実施方法>

- ・ 2022 年度学生定期健康診断（Web 問診）時に受診者全員（学部新入生は除く）に対し、以下アンケートを実施
Q1. 実習や実験で、有害な化学薬品を扱う予定がありますか？または扱っていますか？
Q2. Yes の方は、採血検査を受けるべきですが、受けますか？
- ・ Yes と回答した学生に対し無料で実施
（検査項目：肝機能検査，中性脂肪，コリンエステラーゼ，尿素窒素，尿酸，末梢血）

<結 果>

採 血 者：86 名（男性 47 名，女性 39 名）

要精密検査者：0 名

<事後措置>

- ・ 精密検査者：対象者なし
- ・ 化学薬品曝露における被害なし
- ・ 外部医療機関紹介者はおらず，医師または保健師による生活指導を実施



Ⅲ. 安全点検／産業保健活動

学校保健安全法に基づく安全点検および労働安全衛生法に基づく臨時職場巡視の報告書
(定期の職場巡視に関しては含まれない)

点検日時	2023 年 1 月 26 日 (臨時禁煙パトロール)
点検者	安全衛生担当者, 鮫島 (産業医), 中村 (保健師)
撮影場所	工学部西門など
指摘事項	定期に行っている禁煙パトロールでは, 主に大学周辺にポイ捨てされている吸い殻を集める業務となっている。本学は敷地内に加え, 大学周辺の禁煙の他, 休み時間を含む就業時間内および就学時間内も禁煙であるが, 規則違反は相変わらず続いている (図 1)。図 2 は集めた吸い殻の写真。
記録写真	 <p style="text-align: center;">図 1</p>  <p style="text-align: center;">図 2</p>

IV. 保健管理センターの利用状況

1. 利用状況（令和3年度までのまとめ：表1，2）

近年の全国的な業務内容の変遷から、保健管理センターの業務は3つの柱に集約されつつある（図1）。急速に増大しつつある需要の多くは、広義の diversity management に含まれる多様性に対する対応であり、学生支援・職員支援の中身が複雑化し、年々その量も増えている。この1番目の柱には、学習支援、受講支援、対人関係支援、ハラスメント事例の当事者たちへの支援、などが含まれ支援需要のかなりの部分は現時点でも潜在している。従来から、保健管理センターの主要な業務のひとつであった学生・職員のメンタルヘルスに関する対応も、重要なのは治療や個人の排除ではなく、支援であるという考え方からそのほとんどが diversity management に含まれる。第2の柱には、①病気や怪我の治療を目的とした総合診療、②特別健康診断や臨時健康診断、③定期健康診断（定健）による要精密検査者の

精密検査（精検）、④健康指導・健康相談、⑤就職・進学等用の健康診断書発行、⑥救急薬品の貸出等、⑦禁煙相談・卒煙支援などが含まれる。第3の柱は産業医としての業務で、喫煙対策なども含む。利用状況の集計は、以前より一部 ICD-10 による疾患分類に従っており（表1）、支援件数は便宜的に精神障害と心理相談に含まれている。2020年度（令和2年度）から、COVID-19 関連業務が急増しており、電話対応は「保健サービスの利用」としてカウントしている（流行時は来所者が激減）。

2. 2022年度（令和4年度）の利用状況について

新型コロナウイルス感染症については、本年度の動向と活動の特色にまとめた。発症者および濃厚接触者への対応とワクチンの職域接種業務だけでも業務負担が大きく、夜間や日曜日の Web 申請者への対応が必要な場合も頻回にあった。

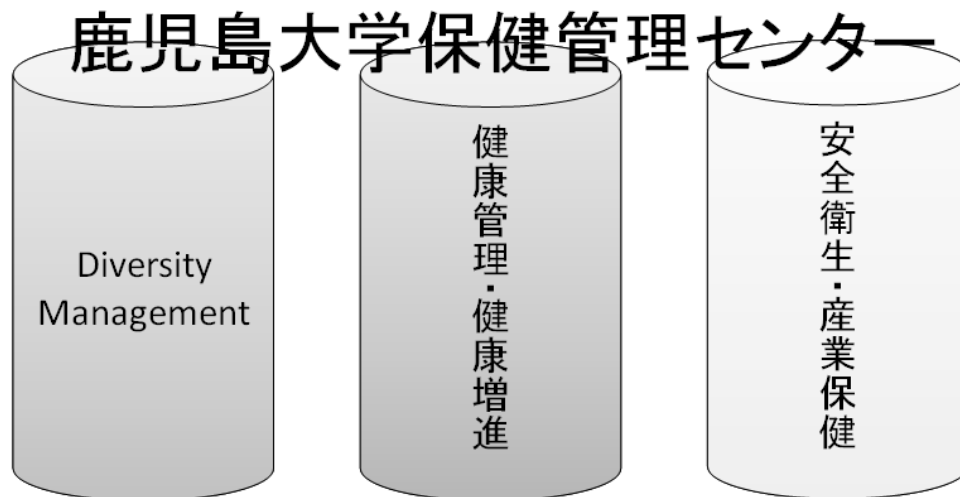


図1 保健管理センターの業務

表1a 保健管理センター利用状況（全学生）

年 度	H29	H30	R1	R2	R3
感 染 症	162 (154)	178 (171)	145 (140)	38 (37)	26 (25)
新 生 病 患	2 (2)	5 (3)	1 (1)	2 (2)	0 (0)
血 液 疾 患	4 (3)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)
内 分 泌、栄 養 お よ び 代 謝 疾 患	30 (29)	32 (31)	17 (17)	13 (12)	6 (6)
精 神 障 害	2021 (92)	1246 (41)	685 (13)	242 (7)	147 (11)
神 経・感 覚 器 系 の 疾 患	73 (57)	56 (53)	54 (52)	13 (13)	6 (6)
循 環 器 系 の 疾 患	12 (10)	11 (11)	11 (10)	4 (3)	2 (2)
呼 吸 器 系 の 疾 患	1001 (914)	1175 (1069)	858 (798)	61 (55)	22 (18)
消 化 器 系 の 疾 患	43 (42)	34 (32)	36 (35)	15 (15)	12 (11)
皮 膚・皮 下 組 織 の 疾 患	91 (80)	78 (64)	54 (51)	21 (20)	18 (17)
筋 骨 格 系 の 疾 患	72 (66)	49 (47)	47 (44)	22 (20)	12 (12)
尿 路 性 器 系 の 疾 患	35 (32)	45 (44)	29 (28)	7 (7)	12 (9)
先 天 奇 形	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)
症 状・診 断 不 明 確	107 (100)	111 (101)	94 (88)	38 (32)	41 (41)
損 傷・中 毒	400 (243)	366 (215)	360 (197)	73 (60)	59 (46)
傷 病 お よ び 死 亡 の 外 因	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
保 健 サ ー ビ ス の 利 用	230 (120)	245 (126)	214 (123)	731 (283)	2501 (776)
心 理 相 談	370 (71)	1038 (107)	1618 (126)	1198 (112)	1663 (140)
小 計	4,654 (2016)	4,672 (2118)	4,236 (1,726)	2,479 (679)	4,527 (1,120)
健 康 診 断 (電 離 放 射 線)	442	482	426	415	464
健 康 診 断 (一 般)	137	139	130	89	45
健 康 診 断 (臨 時)	253	252	56	0	0
定 健 後 の 精 査	50	69	16	10	10
スクリーニング検診(結 核)	36	102	123	27	11
スクリーニング検診(化 学 薬 品)	389	415	402	165	101
A E D 講 習 会	95	119	67	55	4
ア ル コ ー ル バ ッ チ テ ス ト	10	4	5	0	0
MR ワ ク チ ン 予 防 接 種		30			
小 計	1,412	1,612	1,225	761	635
診 断 書 発 行 (保 健 管 理 セ ン タ ー に 来 所)	115	137	132	57	141
(自 動 発 行 機)	4,162	3,463	3,558	2,309	1,916
(ネ ッ ト 発 行)	1,000	1,138	1,234	1,608	1,501
合 計	11,343	11,022	10,385	7,214	8,720

()内は新規利用者

*統計処理変更のため、空欄になっている箇所があります

*スクリーニング検診はH28年度より開始

*診断書発行に関しては発行枚数

表1b 保健管理センター利用状況（職員）

年 度	H29	H30	R1	R2	R3
感 染 症	15 (13)	13 (12)	15 (14)	4 (4)	3 (2)
新 生 病 患	23 (3)	103 (2)	2 (2)	0 (0)	2 (1)
血 液 疾 患	1 (1)	2 (2)	2 (1)	0 (0)	0 (0)
内 分 泌、栄 養 お よ び 代 謝 疾 患	7 (7)	10 (10)	1 (0)	5 (5)	1 (1)
精 神 障 害	74 (16)	51 (10)	52 (7)	49 (8)	51 (3)
神 経・感 覚 器 系 の 疾 患	15 (11)	27 (14)	12 (10)	3 (3)	4 (3)
循 環 器 系 の 疾 患	6 (3)	9 (7)	7 (7)	3 (3)	3 (3)
呼 吸 器 系 の 疾 患	115 (98)	121 (95)	101 (82)	34 (14)	8 (7)
消 化 器 系 の 疾 患	8 (7)	6 (4)	7 (5)	4 (4)	2 (2)
皮 膚・皮 下 組 織 の 疾 患	12 (11)	9 (6)	5 (5)	9 (7)	6 (5)
筋 骨 格 系 の 疾 患	13 (13)	10 (10)	11 (10)	13 (13)	10 (7)
尿 路 性 器 系 の 疾 患	4 (4)	9 (7)	4 (4)	5 (5)	4 (4)
先 天 奇 形	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
症 状・診 断 不 明 確	14 (14)	16 (16)	19 (17)	6 (6)	14 (11)
損 傷・中 毒	54 (33)	42 (20)	44 (29)	38 (29)	26 (19)
保 健 サ ー ビ ス の 利 用	60 (30)	45 (34)	117 (51)	66 (39)	64 (41)
心 理 相 談	8 (4)	51 (8)	33 (8)	32 (11)	56 (10)
小 計	429 (268)	524 (257)	432 (252)	271 (151)	254 (119)
健 康 診 断 (定 期 健 康 診 断 + 人 間 ド ッ)	1,364	1,390	1,397	1,355	1,309
特 殊 健 診 (有 機 溶 剤)	96	80	91	73	79
特 殊 健 診 (特 定 化 学 物 質)	75	50	65	54	58
特 殊 健 診 (有 機 リ ン)	36	37	39	38	32
特 殊 健 診 (電 離 放 射 線)	209	210	207	211	202
健 康 診 断 (振 動 工 具)	24	26	25	87	79
健 康 診 断 (情 報 機 器)	3	3	1	2	4
健 康 診 断 (高 気 圧 薬 務)				8	6
健 康 診 断 (一 般)	15	2	16	12	2
職 員 健 診 の 事 後 措 置	94	111	99	127	108
ス ト レ ス チ ェ ッ ク 面 接 実 施 者	6	13	6	9	8
A E D 講 習 会	27	23	6	0	0
小 計	1,949	1,945	1,952	1,976	1,887
合 計	2,378	2,469	2,384	2,247	2,141

()内は新規利用者

*統計処理変更のため、空欄になっている箇所があります

表 1 c 2021 年度桜ヶ丘分室利用状況（学生）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 容	内科													0
	外科							1						1
	心理相談													0
	精神科相談													0
	健康相談(入力数に含まない相談)							1	2		1			4
	禁煙相談													0
	休養室利用			2	1			1	1		1			6
	健康診断証明書			2										2
	測定のみ等(体温計など)			2										2
	病院内			1				4		1				6
件数		0	0	7	1	0	0	7	3	1	2	0	0	21

表 1 d 2021 年度桜ヶ丘分室利用状況（教職員）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 容	内科													0
	外科													0
	心理相談													0
	精神科相談													0
	健康相談										1			1
	禁煙相談													0
	休養室利用													0
	測定のみ(体温計など)													0
	病院内													0
件数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

表 2 2021 年度 特別・一般および臨時健康診断等（学生）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
分 類	特別 電離放射線取扱者		216						248					464
	一般 小型船舶免許申請				4	1		1						6
	就職等		2	3		21		1	1	8	1		2	39
	柔道部	依頼なし												0
	獣医師国試免許申請	実施せず 密を避けるために個人で外部を受診												0
	歯科医師国試免許申請													0
	医師国試免許申請													0
	保健学科国試免許申請 (看護・保健・理学・作業)													0
	助産師国試免許申請													0
	合 計	0	218	3	4	22	0	2	249	8	1	0	2	509

V. 定期健康診断など

はじめに

学校保健安全法施行規則は、大学における結核健診の時期を第一学年としているため、定期健康診断で実施する胸部 X 線撮影については、新入生以外は法的な必須検査ではない。平成 26・27 年度は、実習前検査として胸部 X 線検査が必要な学生を含め実施したが、平成 28 年度からは新入生のみに実施している。令和 2 年度（2020 年度）から、新型コロナウイルスの流行をきっかけとして、web 問診が導入された。胸部 X 線検査結果の読影については、平成 28 年度より外部委託のみとした。平成 23 年度より本学歯学部によって行われている歯科健診は

2020 年度から 2022 年度は新型コロナウイルス流行のため行われなかった。定期健康診断時に行われる採血検査（平成 28 年度より）については調査報告に記載する。秋健診については表 5 にまとめる。平成 28 年度より検尿は中止となった。平成 29 年度より内科診察は新入生と有所見者（問診）に行っているが、2020 年度と 2021 年度は新型コロナウイルス流行のため、2 年生以上で web 問診の有所見者に行った。2022 年度からは対面の内科診察（問診）は全学年の有所見者のみに行っている。

表 1a 定期健康診断受診率（学部学生）

	2018	2019	2020	2021	2022
検診対象者	8881	8772	8726	8656	8571
受診者	7522	7357	5319	5416	3763
受診率(%)	84.7	83.9	61.0	62.6	43.9
法文学部	82.1 (1466/1786)	82.8 (1482/1790)	60.3 (1093/1812)	60.1 (1078/1795)	39.0 (694/1781)
教育学部	94.7 (1019/1076)	94.4 (945/1001)	91.3 (832/911)	82.9 (730/881)	80.7 (684/848)
理学部	83.7 (680/812)	81.5 (652/800)	57.7 (459/796)	59.7 (485/813)	45.9 (367/800)
医学部	96.8 (1164/1202)	96.8 (1145/1183)	77.9 (924/1186)	83.0 (990/1193)	49.7 (587/1182)
歯学部	97.0 (296/305)	98.4 (305/310)	63.9 (204/319)	76.3 (241/316)	41.9 (131/313)
工学部	77.1 (1548/2008)	73.3 (1460/1993)	44.3 (881/1987)	47.5 (930/1957)	33.1 (643/1943)
農学部	79.8 (721/903)	80.9 (728/900)	55.8 (509/912)	57.4 (522/909)	40.1 (362/902)
水産学部	79.6 (475/597)	80.8 (489/605)	48.9 (300/614)	45.7 (277/606)	32.6 (200/613)
共同獣医学部	79.7 (153/192)	79.5 (151/190)	61.9 (117/189)	78.0 (145/186)	42.9 (81/189)

表 1b 定期健康診断受診率（大学院生等）

	2018	2019	2020	2021	2022
検診対象者	1596	1554	1531	1545	1559
受診者	1044	1014	903	950	672
受診率(%)	65.4	65.3	59.0	61.5	43.1
人文社会科学研究科	75.3 (58/77)	74.7 (59/79)	61.0 (50/82)	65.7 (44/67)	56.3 (36/64)
教育学研究科	78.1 (57/73)	81.9 (59/72)	72.2 (52/72)	69.4 (43/62)	66.7 (26/39)
保健学研究科	35.5 (27/76)	37.8 (31/82)	55.4 (41/74)	68.1 (49/72)	45.3 (34/75)
理工学研究科	84.2 (549/652)	85.0 (538/633)	73.8 (456/618)	77.2 (494/640)	50.8 (314/618)
農学研究科	85.3 (116/136)	87.0 (47/54)	50.0 (1/2)	— (0/0)	— (0/0)
水産学研究科	97.0 (65/67)	82.4 (28/34)	0.0 (0/1)	— (0/0)	— (0/0)
医歯学総合研究科	25.6 (90/351)	26.5 (91/344)	30.9 (106/343)	30.2 (102/338)	15.9 (54/339)
連合農学研究科	37.0 (47/127)	31.3 (35/112)	33.0 (36/109)	24.8 (26/105)	17.1 (18/105)
臨床心理学研究科	100.0 (30/30)	100.0 (30/30)	100.0 (30/30)	100.0 (31/31)	100.0 (32/32)
共同獣医学研究科	42.9 (3/7)	33.3 (6/18)	45.8 (11/24)	30.0 (9/30)	27.0 (10/37)
農林水産学研究科	— (0/0)	91.7 (88/96)	68.2 (120/176)	76.0 (152/200)	59.2 (148/250)

表 2a 理学的所見による要精検者（学部学生）

		2018	2019	2020	2021	2022
一次検診	検診対象者	8881	8772	8726	8656	8571
	受診者	7522	7357	5319	5416	3763
	受診率(%)	84.7	83.9	61.0	62.6	43.9
精密検診	精検対象者	49	22	2	455	228
	受診者	27	12	2	3	2
	受診率(%)	55.1	54.5	100.0	0.7	0.9
一次検診 確定診断	要観察者	41	43	14	17	18
	要医療者	115	114	31	42	52
精検後 確定診断	要観察者	4	2	0	0	2
	要医療者	5	2	0	0	2

2021 年度より、精密対象者の欄に対面診察必要者数が入ったため、精密検査受診率が比較できなくなっている。

表 2b 理学的所見による要精検者（大学院生等）

		2018	2019	2020	2021	2022
一次検診	検診対象者	1596	1554	1531	1545	1559
	受診者	1044	1014	903	950	672
	受診率(%)	65.4	65.3	59.0	61.5	43.1
精密検診	精検対象者	4	6	0	80	46
	受診者	4	3	0	0	2
	受診率(%)	100.0	50.0	—	0.0	4.3
一次検診 確定診断	要観察者	5	0	3	3	4
	要医療者	22	23	10	7	17
精検後 確定診断	要観察者	1	0	0	0	1
	要医療者	0	0	0	0	0

2021 年度より、精密対象者の欄に対面診察必要者数が入ったため、精密検査受診率が比較できなくなっている。

表 2c 理学的所見による要精検者のまとめ

診断名	要観察者		要医療者	
	学部学生	大学院生	学部学生	大学院生
該当なし				
計	0	0	0	0

表 3a 胸部 X 線検査による要精検者（学部学生）

		2018	2019	2020	2021	2022
一次検診	検診対象者	8881	8772	8726	8656	8571
	受診者	2046	2034	1494	1690	1768
	受診率(%)	23.0	23.2	17.1	19.5	20.6
精密検診	精検対象者	12	7	6	5	2
	受診者	12	7	6	4	2
	受診率(%)	100.0	100.0	100.0	80.0	100.0
一次検診 確定診断	要観察者	0	0	0	0	0
	要医療者	0	0	0	0	0
精検後 確定診断	要観察者	5	1	0	0	0
	要医療者	1	0	2	0	0

統計処理変更のため一部実際と異なる表示があります。

表 3b 胸部 X 線検査による要精検者（大学院生等）

		2018	2019	2020	2021	2022
一次検診	検診対象者	1596	1554	1531	1545	1559
	受診者	507	487	387	449	381
	受診率(%)	31.8	31.3	25.3	29.1	24.4
精密検診	精検対象者	2	7	2	3	2
	受診者	2	7	2	3	2
	受診率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
一次検診 確定診断	要観察者	0	0	0	0	0
	要医療者	0	0	1	0	0
精検後 確定診断	要観察者	0	2	1	0	0
	要医療者	0	1	0	0	0

統計処理変更のため一部実際と異なる表示があります。

表 3 c 胸部 X 線検査による要精検者のまとめ

診断名	要観察者		要医療者	
	学部学生	大学院生	学部学生	大学院生
該当なし				
計	0	0	0	0

表 4a BMI 値（学部学生男子）

学年	BMI値	2018	2019	2020	2021	2022
1年生	30 以上	35	34	18	24	30
	15 以下	2	0	3	2	0
2年生	30 以上	17	25	6	8	4
	15 以下	0	1	0	1	1
3年生	30 以上	26	16	14	14	5
	15 以下	1	0	3	0	1
4年生	30 以上	36	30	14	12	11
	15 以下	0	2	1	3	1
5年生	30 以上	2	2	2	1	0
	15 以下	0	0	0	0	0
6年生	30 以上	3	2	1	3	1
	15 以下	0	0	0	1	0

表 4b BMI 値（学部学生女子）

学年	BMI値	2018	2019	2020	2021	2022
1年生	30 以上	10	7	3	10	6
	15 以下	2	2	0	0	3
2年生	30 以上	7	7	1	1	7
	15 以下	0	2	1	0	1
3年生	30 以上	5	10	4	2	1
	15 以下	2	0	0	0	0
4年生	30 以上	4	9	6	5	4
	15 以下	0	1	0	0	0
5年生	30 以上	0	0	0	0	0
	15 以下	0	0	0	0	0
6年生	30 以上	1	0	1	0	0
	15 以下	0	0	0	0	0

表 4c BMI 値（大学院生男子）

学年	BMI値	2018	2019	2020	2021	2022
1年生	30 以上	22	13	9	8	12
	15 以下	1	0	1	0	0
2年生	30 以上	15	16	9	6	5
	15 以下	0	0	0	0	0
3年生	30 以上	2	2	5	2	1
	15 以下	0	0	1	0	0

表 4d BMI 値（大学院生女子）

学年	BMI値	2018	2019	2020	2021	2022
1年生	30 以上	3	2	5	5	1
	15 以下	0	0	0	0	0
2年生	30 以上	3	2	0	2	3
	15 以下	0	0	0	0	0
3年生	30 以上	0	1	0	0	0
	15 以下	0	0	0	0	0

表 5 秋健診（10月）：胸部 X 線検査のみ

秋入学者(胸部X線検査のみ)

		2018	2019	2020 ^{※2}	2021 ^{※2}	2022 ^{※2}
1次検診	受診者	69	78	28	9	29
	免除者 ^{※1}	3	0	0	0	4
精密検診	精密対象者	1	0	0	0	0
	受診者	1	0	0	0	0
最終診断	要観察者	0	0	0	0	0
	要医療者	0	0	0	0	0

※1 3ヶ月以内に胸部X線検査を受けたことが証明できる学生、妊娠中の学生等

※2 4月以降の入学者でコロナの影響により入国が遅れたものも含む

VI. 保健管理センターの沿革

昭和 29 年		鹿児島大学保健診療所設置
昭和 40 年		鹿児島大学学生相談室設置
昭和 47 年	2 月	鹿児島大学保健管理センター設置準備懇談会発足，世話役 宮司祐三学生部長
昭和 47 年	5 月	国立学校設置法施行規則の改正（省令第 11 号）により，本学に保健管理センター設置 新規講師定員 1 名及び看護婦定員 1 名 保健管理センター所長事務取扱に宮司祐三学生部長（併任）就任
昭和 47 年	12 月	鹿児島大学保健管理センター規則，鹿児島大学保健管理センター所長及び教員選考規則制定
昭和 48 年	1 月	保健管理センター所長に医学部篠原慎治教授（併任）就任 医学部（神経精神医学）川池浩二助手，保健管理センター講師就任
昭和 50 年	5 月	診療所開設（厚生省認可）
昭和 51 年	3 月	保健管理センター新庁舎落成
昭和 51 年	9 月	新庁舎で業務開始
昭和 51 年	10 月	教授定員 1 名純増
昭和 52 年	1 月	医学部（神経精神医学）新里邦夫助教授，保健管理センター教授就任
昭和 52 年	6 月	川池浩二講師，附属病院へ配置替え
昭和 52 年	11 月	医学部（第二内科学）美坂幸治助手，保健管理センター講師就任
昭和 55 年	4 月	美坂幸治講師，教育学部教授に転出
昭和 55 年	11 月	医学部（第一内科学）前田芳夫助手，保健管理センター講師就任
昭和 56 年	1 月	保健管理センター所長に新里邦夫教授就任
昭和 57 年	4 月	前田芳夫講師，助教授就任
昭和 57 年	11 月	新里邦夫所長，保健管理センター所長退任，県立鹿児島保健院長に転出 保健管理センター所長事務取扱に岩熊三郎学生部長（併任）就任
昭和 58 年	1 月	医学部（神経精神医学）瀧川守国助教授，保健管理センター教授就任
昭和 58 年	6 月	保健管理センター所長に瀧川守国教授就任
平成 6 年	8 月	瀧川守国教授，保健管理センター所長退任，医学部（神経精神医学）教授に転出 保健管理センター所長に前田芳夫助教授就任
平成 6 年	9 月	前田芳夫助教授，教授就任
平成 6 年	11 月	医学部（神経精神医学）野間口光男助手，保健管理センター講師就任
平成 8 年	7 月	野間口光男講師，鹿児島県立始良病院医長に転出 医学部（神経精神医学）上山健一助教授，保健管理センター助教授就任
平成 9 年	10 月	第 35 回全国大学保健管理研究集会開催（於：鹿児島市民文化ホール）

平成 10 年	3 月	上山健一助教授，鹿児島県立始良病院院長に転出
平成 10 年	4 月	医学部（神経精神医学）森岡洋史講師，保健管理センター助教授就任
平成 15 年	3 月	前田芳夫教授，鹿児島大学教員定年規則により退官
平成 15 年	4 月	保健管理センター所長事務取扱に種村完司副学長（併任）就任
平成 15 年	6 月	森岡洋史助教授，保健管理センター教授ならびに所長（併任）就任
平成 15 年	10 月	医学部（第三内科学）榮樂信隆助手，保健管理センター助教授就任
平成 18 年	1 月	河村 裕医師，保健管理センター助手（産業医）就任
平成 18 年	3 月	榮樂信隆助教授退任
平成 18 年	4 月	鹿児島赤十字病院（内科）伊地知信二部長，保健管理センター助教授就任
平成 19 年	4 月	職名変更（助教授→准教授，助手→助教）
平成 19 年	8 月	九州地区大学保健管理研究協議会主催
平成 21 年	3 月	河村 裕助教退任
平成 21 年	11 月	鮫島久美医師，保健管理センター助教就任
平成 23 年	3 月	森岡洋史教授，保健管理センター所長退任
平成 23 年	4 月	伊地知信二准教授，教授・保健管理センター所長就任
	4 月	森岡洋史教授，特任教授就任
平成 24 年	4 月	医学部（神経科精神科）川池陽一助教，保健管理センター准教授就任
平成 25 年	7 月	障害学生支援室（平成 26 年 4 月からセンター）との連携開始
平成 26 年	3 月	増築改修工事開始
平成 27 年	1 月	増築改修工事終了
平成 27 年	12 月	ストレスチェック制度施行（労働安全衛生法改正）
平成 28 年	4 月	障害者差別解消法施行
平成 30 年	12 月	7 月の健康増進法改正を受け，総務省が本学の喫煙所が受動喫煙を起こすと公表（あっせん）
令和 2 年	1 月	敷地内全面禁煙化完全実施
令和 3 年	3 月	森岡洋史特任教授退任
令和 3 年	7 月	第 51 回九州地区大学保健管理研究協議会主催（オンデマンド）
令和 5 年	3 月	鮫島久美助教退任

VII. 2023 年度学校保健計画及び学校安全計画

	行 事	内 容	教育活動	安全点検
4	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・学生定期健康診断(Web 問診) ・学生化学物質取扱者(有機溶剤取扱者)採血検査 ・学生結核の採血検査(IGRA) 	救護待機 4 月 3 日～21 日 問診(内科、身長体重、皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科) 胸部X線デジタル撮影(新入生のみ 10 日～14 日) 対面診察(該当者のみ 17 日～21 日) 4 月 17 日～21 日 4 月 17 日～21 日	AED 講習 卒煙支援 禁煙講演 北°ハ°ン講演	随時実施
5	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断証明書発行開始(Web 発行) ・第 1 回電離放射線健康診断(学生・教職員) ・学生定期健康診断受診者への精密検査通知 ・健康診断証明書発行開始(自動発行機) ・体育系サークルの健康診断 ・学生定期健康診断の事後措置 	眼、皮膚、血液、問診 心電図、聴打診、血圧、検尿 要精密検査者に個別指示(胸部X線検査)		
6	<ul style="list-style-type: none"> ・学生定期健康診断の事後措置 ・学生化学物質取扱者・結核の採血後の事後措置 ・就職試験用等健康診断開始 ・職員定期健康診断事後措置(附属小等) ・ストレスチェック(職員) 	要精密検査者に個別指示 (内科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科) 要再検査者に個別指示		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・2024 年度 学生定期健康診断日程(案)計画 ・卒業生のカルテ整理・保管 ・第 53 回九州地区大学保健管理研究協議会 	日程調整 オンライン開催(当番:熊本大学)		
8	<ul style="list-style-type: none"> ・学生定期健康診断精密検査結果処理 ・職員一般定期健康診断 ・第 1 回特定業務従事者健康診断(職員) ・有機溶剤取扱者健康診断(職員) ・特定化学物質取扱者健康診断(職員) ・有機リン剤取扱者健康診断(職員) ・高気圧業務従事者健康診断(職員) ・振動工具業務従事者健康診断(職員) 	身長・体重、視力、聴力、血圧、検尿、腹囲、 胸部X線間接撮影、血液、心電図、大腸ガン、診察 身長・体重、視力、聴力、血圧、検尿、腹囲、 胸部X線間接撮影、血液、心電図、大腸ガン、診察 診察、血液検査、尿代謝物検査等 診察、血液検査、皮膚の検査等 診察、血液検査、視診等 診察、四肢の運動機能の測定、鼓膜の検査、肺活量測定等 視診、触診、運動機能検査(握力)等		
9	<ul style="list-style-type: none"> ・職員健康診断事後措置 ・ストレスチェック事後措置(産業医面談等) 			

	行 事	内 容	教育活動	安全点検
10	<ul style="list-style-type: none"> ・10月入学者健康診断 ・第1回保健管理センター運営委員会 ・第61回全国大学保健管理研究集会 ・2023年度 一般社団法人国立大学保健管理施設協議会 ・総合型選抜入試 	胸部X線デジタル撮影 2024年度 学生定期健康診断実施計画(案) 10月4・5日(当番:金沢大学) 10月6日 (当番:北陸先端科学技術大学院大学保健管理センター) 救護待機	AED 講習 卒煙支援 禁煙講演 ビデオ講演	随時実施
11	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器作業従事者健康診断(職員) ・第2回電離放射線健康診断(学生・教職員) ・学校推薦型選抜Ⅰ入試等 	視力、問診等 眼、皮膚、血液検査、問診 救護待機		
12	<ul style="list-style-type: none"> ・センター利用者年間統計資料作成 			
1	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談日年間計画表作成 ・大学入学共通テスト 	2024年度 学医及びカウンセラー 救護待機		
2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校推薦型選抜Ⅱ入試等 ・総合型選抜入試 ・前期日程個別学力検査 ・第2回特定業務従事者健康診断(職員) ・有機溶剤取扱者健康診断(職員) ・特定化学物質取扱者健康診断(職員) ・有機リン剤取扱者健康診断(職員) ・高気圧業務従事者健康診断(職員) ・振動工具業務従事者健康診断(職員) ・実習前麻疹抗体検査 	救護待機 救護待機 救護待機 身長・体重、視力、聴力、血圧、検尿、腹囲、 胸部X線間接撮影、血液、心電図、大腸ガン、診察 診察、血液検査、尿代謝物検査等 診察、血液検査、皮膚の検査等 診察、血液検査、視診等 診察、四肢の運動機能の測定、鼓膜の検査、肺活量測定等 視診、触診、運動機能検査(握力)等		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員健康診断事後措置 ・第2回保健管理センター運営委員会 ・保健管理センター年報原稿作成 ・棚卸 ・卒業生の診療カルテ整理・保管 ・後期日程個別学力検査 ・共同獣医学部国家資格免許申請のための健康診断 ・医歯学部国家資格免許申請のための健康診断 ・卒業式 	2024年度学校保健計画・学校安全計画(案) 救護待機 神経科精神科 神経科精神科 救護待機		

VIII. 保健管理体制

(1) 保健管理センター職員

(令和5年1月現在)

所長	教 授	伊地知信二	(内科)
産業医	准教授	川池陽一	(精神科)
産業医	助 教	鮫島久美	(内科)
保健師		中村聡子	
保健師		山口由佳 (2月より育休から復帰)	
保健師		平片 舞	
保健師		蒲地亜紀代	
保健師		瀬戸山久美	
カウンセラー		永田純子	
カウンセラー (非常勤講師)		田沼利枝	
カウンセラー (特任コーディネーター)		入角千晶	
カウンセラー (非常勤講師)		石田 愛	
カウンセラー (特任コーディネーター)		富宿小百合	
ソーシャルワーカー		黒瀬真弓	
事務補佐員		水口夏代	
事務補佐員		鮫島順子	

(2) 保健管理センター運営委員会委員

	学部等	職名	氏名	区分	任期
1	保健管理センター	教授	伊 地 知 信 二	所 長	職 指 定
2	〃	准教授	川 池 陽 一	専 任 教 員	職 指 定
3	〃	助教	鮫 島 久 美	専 任 教 員	職 指 定
4	法 文 学 部	教授	山 本 一 哉	学 部 等 選 出 委 員	R04.4.1～R06.3.31
5	教 育 学 部	教授	前 田 雅 人	〃	
6	理 学 部	准教授	礼 満 ハフィーズ	〃	
7	医 学 部	教授	山 下 亜 矢 子	〃	
8	歯 学 部	講師	勝 俣 愛 一 郎	〃	
9	工 学 部	教授	塩 屋 晋 一	〃	
10	農 学 部	准教授	下 田 代 智 英	〃	
11	水 産 学 部	教授	小 針 統	〃	
12	共 同 獣 医 学 部	准教授	内 藤 清 惟	〃	
13	理 工 学 研 究 科	准教授	礼 満 ハフィーズ	〃	
14	医歯学総合研究科	教授	中 村 雅 之	〃	
15	情報基盤統括センター	准教授	古 屋 保	委 員 会 が 必 要 と 認 め た 委 員	
16	鹿児島大学病院	助教	宮 下 圭 一	学医（耳鼻咽喉科）	R0.4.4.1～R05.3.31
17	医歯学総合研究科	助教	中 條 正 英	学医（整形外科）	
18	鹿児島大学病院	講師	寺 崎 寛 人	学医（眼科）	
19	医歯学総合研究科	助教	佐 々 木 な つ き	学医（精神科）	
20	鹿児島大学病院	講師	多 田 浩 一	学医（皮膚科）	
21	医歯学総合研究科	助教	廣 島 屋 宣 俊	学医（口腔保健科）	
22	鹿児島大学病院	講師	児 玉 祐 一	学医（小児科）	
23	鹿児島大学病院	助教	鬼 塚 一 聡	学医（麻酔科）	
24	法 文 学 部	准教授	平 田 祐 太 朗	カウンセラー	
25	教 育 学 部	准教授	片 岡 美 華	カウンセラー	
26	学 生 部	部長	山 口 大 地	学 生 部 長	職 指 定

あ と が き

2009 年 11 月新型インフルエンザ（パンデミック（H1N1）2009）大流行の年に保健管理センターへ着任してから、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックが起こり 3 年過ぎた今も終焉が見えぬ 2023 年 3 月末で定年退職となりました。在職中は色んなことを経験し学ばせていただき、伊地知所長はじめ保健管理センターのスタッフの皆様には感謝の言葉しかありません。学生さん・職員の方々のお話を聞く機会がありましたが、本人様の思いに沿うように聞けたか、支援につながったかどうかは甚だ疑問が残るところです。

私は行き詰り自分ではどうしようもない時に誰かに相談しますが、必ずしも解決するすべを求めているわけではありません。駄目だしせず黙って聞いてくれて、頃合いを見て助言してくれる人が欲しいだけなのです。その人に話を聞いてもらうことで悩みが軽くなったり、自分なりに結論が出せたり、暗闇に一筋の光が見えることがあります。私には家族がいますが、これまで良き助言者（メンター）ではなかったと深く反省することばかりで悔やまれます。特に子供に対しては感情に走ってしまいがちで、子供の将来に対する親としての責任を果たさなくてはと気負いすぎてしまい、子供の人生は自分で決めるべきとはわかっていても話も聞いてあげず説教じみたことばかり言ってきたような気がします。伊地知所長がメンターは良質の子育てと同じといつもおっしゃっています。還暦を過ぎた頃より、柄にもなく残りの人生をいかに生きるべきかについて考えることが多くなりました。私は決して聞き上手ではありませんが、誰かのメンターになれたらと思っています。保健管理センターでの経験は私にとって宝物です。これまで私を支援してくださったスタッフの皆様、本当にありがとうございました。皆様のこれからの益々のご活躍を応援しています。

鮫島久美（記）

鹿児島大学保健管理センター年報 第 44 号

令和 5 年（2023 年）3 月 31 日発行

発行 鹿児島大学保健管理センター

〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目 21 番 24 号

電話 （099）285-7385